

本体用取扱説明書 Ver1.0_2022.07

使用上の重要な情報が書かれています。ご使用前に説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。説明書はお使いになる方がいつでも見る事ができるように大切に保管してください。

本誌は本体用の説明書です。アプリのアカウント作成や本体との接続方法に関しては、別紙の「アプリ共有部分用説明書」を御覧ください。

本取扱説明書は大切に保管してください

- 本製品は家庭用であり、業務用に製造されたものではありません。
- 本製品はペットの安全と健康を保証するものではありません。

「自動猫トイレ」は「何もしなくていいトイレ」ではありません

- 本製品は「固まったトイレ砂(排泄物)をトイレから掬い上げる」作業を自動化したトイレです。その他の作業(排泄物の処分、清掃など)は定期的に行ってください。

《梱包内容物》



- ①本体：1台
- ②排泄物コンテナ：1個
※本体にセット済
- ③マット：1枚
- ④専用替えライナー：1巻(20枚)
- ⑤専用デオドラント：4本
- ⑥電源アダプター：1個
※④⑤⑥は細長い箱の中に入っています。

2ページ	安全上の注意
3ページ	使用時の注意
4ページ	各部の名前と操作ボタンについて
5ページ	本体の設置 / マットの設置
6ページ	専用ライナー（ゴミ袋）の装着
7ページ	ドームの脱着 / 専用デオドラントの補充
8ページ	電源アダプターの接続 / 電源のオン・オフ
9ページ	モードボタンについて
10ページ	トイレ砂について / トイレ砂を入れる
11ページ	トイレ砂の排出
12ページ	トイレ後の自動清掃
13ページ	ボタンを使った操作（手動清掃・手動消臭）
14ページ	ボタンを使った操作（砂均し・トイレ砂の排出）
15ページ	ボタンを使った操作（リセット・ホーム）
16ページ	お手入れ方法
17ページ	安全装置について
18ページ	アプリ画面について
20ページ	アプリ画面での操作
21ページ	設定画面について
22ページ	スマート設定画面について
23ページ	エラー表示について
25ページ	製品情報・無料修理保証について

火災や感電、製品の破損により、ペットや使用者が怪我をしたり、家屋や家具などの家財に損害が生じる恐れがあるので、必ず以下の点を守ってご使用ください。下に記載がない場合でも危険と思われることは行わないでください。

- 本製品は猫用トイレです。本来の用途以外の使用はお止めください。
- 本製品は家庭内での使用を目的としています。商業用または工業用として使用しないでください。
- 本製品は留守中のペットの世話と安全・健康を保証するものではありません。旅行など長期間家を留守にする場合は必ずペットホテルを利用したり、知人に世話を頼むなどしてください。
- 本製品をお子様や、身体・思考能力が著しく低下している方が単独で使用することは危険ですのでお止めください。
- 使用する際は安全に使用できる環境下かつ、製品の安全な使用方法と危険性を理解している方の指示監督のもとで使用し、お子様のみでのお掃除やお手入れは危険ですので絶対に行わないでください。
- お子様が居る場所で使用する際は十分注意してください。また、お子様が本製品で遊ばないように注意してください。
- 濡れた手で電源アダプターや本製品を触ったり、操作したりしないでください。
- 屋外や浴室など湿気の多い場所や水に濡れる場所での使用、保管はお止めください。
- 回転中のドームや、ドームとベース、カバーの隙間に指や手を触れないでください。
- 本製品が上手く機能しない場合、破損した場合、屋外に放置したり液体に浸してしまった場合は絶対に使用しないでください。思わぬ事故や怪我に繋がる恐れがあります。
- 製品を分解しないでください。間違った組み立て方をすると感電や火災につながる恐れがあります。
- 電源アダプターや電源コードが破損した状態で本製品を使用しないでください。
- 電源コードを引っ張ったり、上に重たいものを乗せないでください。また、コードを挟んでドアを閉めたり、先端が鋭利なものや角のまわりで電源コードを引っ張らないでください。
- 延長コードを介しての使用は推奨しません。また、タコ足配線はお止めください。
- 長期間使用しない場合や、本体の掃除を行う前は必ず電源アダプターをコンセントから抜いてください。
- 火気や熱源の近くで使用したり、保管しないでください。
- 故障の原因となりますので、定期的に掃除を行なってください。汚れたまま使用すると故障や破損の原因となります。

《不安定になる場所に置かないでください》

本体は硬く平らな床の上に設置してください。段差がある場所に設置すると傾いたりして危険なのでお止めください。また本製品は足裏に重量センサーがあるタイプの製品では無いので、マットやカーペットの上に設置しても大丈夫ですが、厚手の弾力のあるカーペットの上には置かないでください。

《安全装置を過信しないでください》

本製品にはドーム回転中に猫が入った時に動作を停止するなど自動停止装置が備わっていますが、確実に事故を防ぐことを保証しているものではありません。装置を過信せずに常に安全に注意して使用してください。

《長期間留守にしないでください》

旅行などで家を長期間留守にする場合はペットホテルを利用したり、ご家族や友人に世話を頼むなどしてください。

《こまめに掃除してください》

故障の原因のほとんどが、製品が汚れたまま使用したことによるものです。コンテナに集められた固まったトイレ砂は、こまめに処分してください。また、必ず定期的に土台やドームを掃除してください。

《万が一のために予備のトイレをご用意ください》

本製品は機械ですので修理が必要になる場合があります。修理中の代わりにのトイレは必ずお客様ご自身で準備をお願いします。弊社が実施している 12 ヶ月の無料修理保証は、修理中のトイレの都合やペットの世話を補償するものではありませんの予めご了承ください。

《なるべく箱は捨てずに残しておいてください》

修理の際は弊社へ本製品を発送して頂く必要があります。その際の梱包費用は無償修理、有償修理に関わらずお客様負担となります。比較的大きな梱包資材が必要になりますので出来るだけ発送時の箱を残しておくことを推奨しています。

《ペットに無理に使用させないでください》

トレー型のトイレに比べ、本製品は見た目も大きさも全く異なります。ペットが興味を示す反面、緊張し不安を感じる事もあります。すぐにトイレをしないからといって、無理にドームへ入れようとする事は絶対にお止めください。

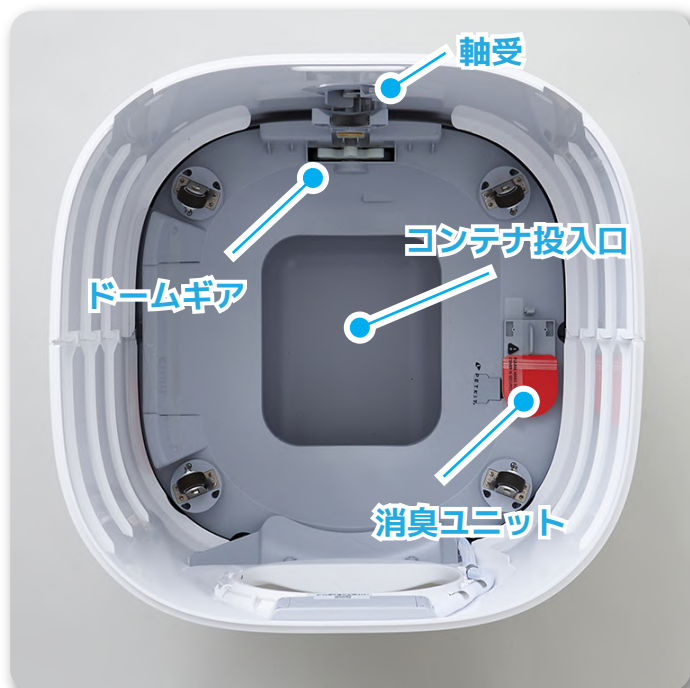
《前側》



《後ろ側》



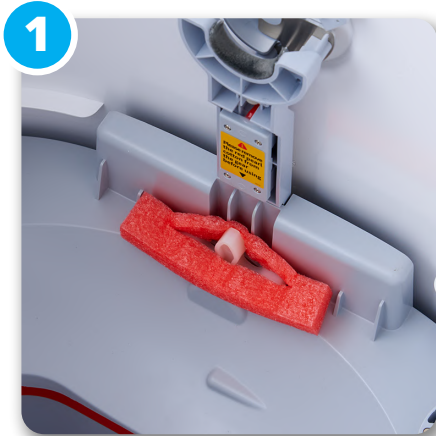
《内部》



《操作ボタン》



《01：本体の設置》



ドームギアの緩衝材を外すのを忘れないでください。



消臭ユニットのテープも剥がしておいてください。



消臭ユニットは図のような手順で外せます。



本体は壁から5cmほど離して置いてください。



段差などで本体が傾かないように注意してください。



ドーム入口部分の赤外線センサーが塞がれないように注意してください。

《02：マットの設置》



マットのオレンジ部分を、本体前側の脚で押さえるように設置します。片足だけで踏んだ状態になったり、グレーの部分を踏んだりしないように注意してください。

06 専用ライナー（ゴミ袋）の装着



排泄物コンテナのフレームを外します。



コンテナの四隅にツメがあるので...



そこに専用ライナーのフチを引っ掛けます。



専用ライナーの取り付けが終わった所です。



フレームを取り付けて完了です。

ライナーはこまめに交換してください。
固まった砂を溜め込みすぎると故障の原因となります。

《専用ライナーが無くなったら》



- 別売りの「自動猫トイレ PETKIT 専用ライナー」をお買い求めください。

《01：ドームの脱着》

- ドームは以下の手順で外してください。
- 取り付ける時は逆の手順で取り付けてください。



ドームカバーを外します。
※取り付ける時は「PETKIT」の文字が入口側を向くように注意してください。



ドーム固定レバーを回します。



②
ドームを取り出します。

《02：専用デオドラントの補充》

- 消臭ユニットには必ず PETKIT 専用のデオドラント（消臭剤）を入れてください。
- 専用デオドラントが服や手などにつかないよう注意してください。



ドームを取り出します。



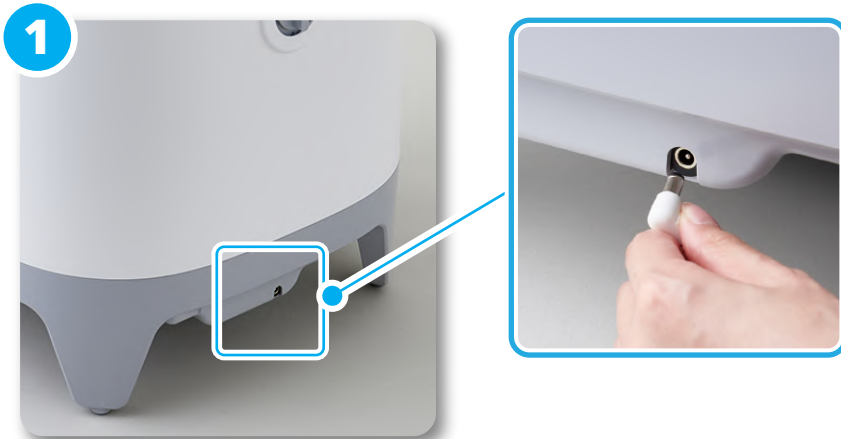
専用デオドラント投入口のフタを開けます。



専用デオドラントを入れます。

- 電源のオン・オフは本体のボタン、もしくはアプリ上で操作できます。
- 濡れた手で電源アダプターを抜き差しすることは感電のおそれがあるので絶対にお止めください。

《01：電源アダプターの接続》



電源アダプターを本体に取り付けます。
※電源アダプターがコンセントに刺さった状態で取り付けないでください。



電源アダプターをコンセントに差し込みます。この時本体は自動的に電源がオンになります。

《02：電源のオン・オフ》

本体のボタン



アプリ画面



本体のモード変更ボタンを長押しする。もしくはアプリの電源ボタンをタップして操作します。

09 モードボタンについて

- 本製品はアプリ接続を行わなくても、本体のモードボタンを使用しても操作も可能です。
※操作できる機能は一部のみです。
- モードボタンを押すごとに実行内容が切り替わります。OK ボタンを押すと表示している内容を実行します。
- 「デオドラント」と「ランプ」は消臭デバイスの取り付けと接続を行っておく必要があります。



『ホーム』

トイレ回数、トイレ砂の量 (%) が表示されています。待機中はこの画面が表示されています。



『クリーニング』

手動で自動清掃を実行します。アプリの動作記録では手動サイクルとして記録されます。



『デオドラント』

手動で消臭を実行します。



『トイレ砂の排出』

ドーム内のトイレ砂を排泄物コンテナへ排出します。



『レベリング』

ドーム内のトイレ砂を均します。



『リセット』

ドームの位置を待機位置へ戻します。



『Wi-Fi 接続』

アプリとの接続設定モードになります。



『ホームへ戻る』

ホーム画面へ戻ります。



《01：使用できるトイレ砂》

- 固まるタイプのトイレ砂を使用してください。※なるべく粒の小さいものを使用してください。
- トイレ砂の材質は、鉱物系（ベントナイト）、おから、鉱物とおからの混合が使用できます。
※アプリ内でもこの3種類から選んで設定します。
- 穀物系のトイレ砂も使用できますが、アプリ内の設定にはない種類なので、残量が正しく通知されない場合があります。（穀物系を使用する場合はアプリ内では鉱物とおからの混合を設定してください）
- 木製、紙製のトイレ砂は使用できません。

《02：トイレ砂を入れる》



ドームカバーを外し、ドームの排泄ポートからトイレ砂を投入します。



トイレ砂の量がドーム内の「MAX」の線を超えないように注意してください。



ドームカバーを取りつけ、OK ボタンを素早く2回押します。補正が終わると完了です。

11 トイレ砂の排出

- 砂排出モードを実行すると、ドーム内のトイレ砂を排泄物コンテナへ排出できます。
- 砂排出モードを実行する前に排泄物コンテナは空にしておいてください。
- 構造上、ドーム内にトイレ砂が少し残る事があります。



トイレ砂がドーム内のゴミ箱マークの線より下回っていることを確認します。



モードボタンを押して「砂排出」を選択します。



OK ボタンを押します。



ドームが回転してトイレ砂が排出されます。排出した後は自動的に元の位置へ戻ります。



トイレ砂は排泄物コンテナに落とされています。

12 トイレ後の自動清掃

- 猫がトイレをした後、一定時間経過後に自動清掃が行われます。
- 一定時間待機中に再度トイレに来た場合は、そこから更に一定時間待機します。
- 自動清掃が始まるまでの時間は、アプリでのみ変更できます。



1
猫がトイレをしてドームから出てから一定時間待機します。



2
ドームが回転して固まったトイレ砂を排泄物コンテナへ落とします。



3
排泄物コンテナの消臭が行われます。



4
ドームが元の位置へ戻ります。



5
トイレ砂を均すため元の位置を少し過ぎたところまで動きます。



6
ドームが元の位置に戻って自動清掃終了です。

『自動清掃が始まるまでの待機中に再度トイレをした時は？』

- 再度ドームを出た時から待機がやり直しになります。

『ドーム回転中に猫がドームへ入ろうとした時は？』

- 安全装置が働き、入ろうとした時に動作が止まります。そのままドームへ入ってしまった場合も重量を感知している間は動作は再開しません。

《01：手動で自動清掃を行う》

- 任意のタイミングで自動清掃を行うことができます。
- 自動清掃の待機中にこの操作を行っても、一定時間後に自動清掃は行われます。
- ドーム内に猫がいる時は自動清掃は実行できません。



モードボタンを押して「クリーニング」を選択します。



OK ボタンを押すと自動清掃が実行されます

《02：手動で消臭を行う》

- 任意のタイミングで消臭を行います。



モードボタンを押して「デオドランド」を選択します。



OK ボタンを押すと消臭が始まります。

《02：トイレ砂を均す》

- ドーム内のトイレ砂を均します。
- OK ボタンを 2 回押した時(砂を補充した時)と違い、トイレ砂の量の補正は行われません。



モードボタンを押して「砂均し」を選択します。



OK ボタンを押すと砂均しが実行されます

《02：砂の排出を行う》

- ドーム内のトイレ砂を排泄物コンテナへ排出します。
- トイレ砂の量がドーム内のゴミ箱マークの線より少ないことを確認してから行ってください。
- 詳しくはページをご確認ください。



モードボタンを押して「トイレ砂の排出」を選択します。



OK ボタンを押すとトイレ砂の排出が実行されます

《01：リセットを行う》

- リセットを実行するとドームの位置などを待機状態に戻します。
- ドームの位置がずれた時や、コンテナが一杯になって中身をからにした後にご利用ください。
- リセットを行っても、トイレ回数や自動処理の待機状態はリセットされません。



モードボタンを押して「リセット」を選択します。



OK ボタンを押すとドームが待機位置へ戻ります。

《02：ホーム画面に戻る》

- ホーム画面へ戻ります。
- モードを選択中に OK ボタンを押さずに一定時間が経過してもホーム画面に戻ります。



モードボタンを押して「戻る」を選択します。



OK ボタンを押すとホーム画面に戻ります。



- 長くご使用いただく為、故障を防ぐために定期的にお掃除を行ってください。

《01：水洗い可能な部分》



- これらの部品は取り外してから水洗いが可能です。
- 水洗い後は水気を拭き取りしっかり乾燥させてから取り付けてください。
- 乾燥させる場合は日陰で乾かしてください。直射日光に当てると劣化や変形の原因になる恐れがあります。
- 特にドームは空気穴から水が入り込むので、ここから水をしっかりと出し切って乾燥させてください。



《02：水洗いできない部分》



乾いた布巾やブラシで汚れを落としてください。汚れがひどい場合は固く絞った布巾で拭いた後、乾いた布巾で拭き取ってください。

これらの部品には電子部品、金属部品が組み込まれている為、水洗いはしないでください。水に濡れると電子部品の故障、金属部品のサビの原因となります。万が一濡れてしまった場合はすぐに水気を拭き取り、しっかりと乾燥させてください。

- 本製品には猫がドームに挟まるなどの事故を防ぐ為に、緊急時にドームの動きを停止させる安全装置が実装されています。
- ただし、安全装置を過信せず安全に注意して正しくご使用ください。

《01：赤外線センサー》

- 動作中に、赤外線センサーが反応すると動作が止まります。
- 反応がなくなってから一定時間経過後、動作を再開します。
- 上のセンサーは物体が近づくと反応し、両脇のセンサーは入口を物体が通ると反応します。



《02：重量センサー》

- 動作中にドーム内に重量を感知すると動作が止まります。
- 反応がなくなってから一定時間経過後、動作を再開します。



《03：カバーセンサー》

- ドームカバーが外れている場合、動作が行われません。
- カバーがずれているだけでも動作しないので、ドームカバーが正しく取り付けられているか確認してください。

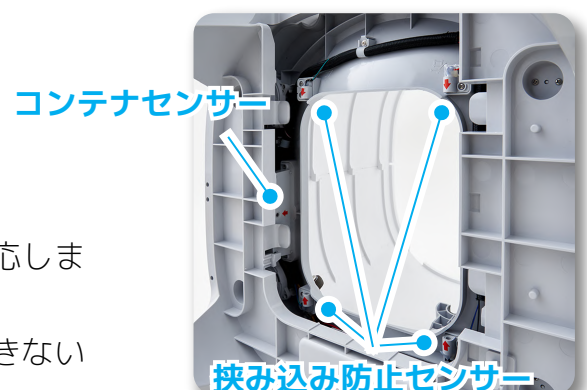


《04：挟み込み防止センサー》

- 排泄ポートと排泄物コンテナに物体が挟まると、センサーが反応して動作を停止します。停止時はドームが少し戻って、隙間を広げてから止まります。
- 自動では動作を再開しません。

《05：コンテナセンサー》

- 排泄物コンテナが一杯になると、両脇のセンサーが反応します。
- このセンサーが反応している間は、自動清掃を実行できないので、排泄物コンテナを空にしてください。



本説明書で掲載されているのはアプリ内の操作方法のみです。
 本体とアプリの接続方法は別紙のアプリ共通部分用説明書を御覧ください。



接続したデバイス（トイレ）の詳細を確認するにはここをタップしてください。

《デバイス画面》



① 設定

設定画面に移動します

② 現在の状態

現在のデバイス（トイレ）の状態が表示されています。中央には最後にトイレを時刻が表示されます。

③ 動作ボタン

各種動作を行います。

④ スマート設定ボタン

デバイス（トイレ）の動作に関する設定画面へ移動します。

⑤ 各種詳細

上へスワイプするとトイレの回数などの情報が表示されます。

《デバイス画面：各種詳細》



① 本日のトイレデータ

その日のトイレ回数が表示されます。

② 本日の平均時間

その日の平均トイレ時間が表示されます。

③ グラフ

ペットごとのトイレ情報が表示されます。どのペットがトイレをしたかわからない場合はグレーで表示されます。

④ 運動記録

上へスワイプすると動作状況の情報が表示されます。

《デバイス画面：運動記録》



① 運動記録

今までの記録の一覧が表示されます。
※通信状態やデータ送信中に別の操作をするなどした場合、上手くデータが反映されない場合があります。

《01：電源のオン・オフ》



「電源を入れる」をタップすると電源のオン・オフができます。※電源をオフにしても、猫がトイレをするとアプリに通知が来ます。

《02：手動で自動清掃を行う》



「すぐに清掃する」をタップすると自動清掃が行われます。

《03：手動で消臭を行う》



「すぐに消臭する」をタップすると消臭が行われます。



① 取扱説明書

メーカーの説明書が確認できます。
※内容は英語表記です。

② 体重

登録されたペットの体重を変更できます。

③ トイレ砂のタイプ

使用するトイレ砂の材質を設定します。

④ シェア

トイレの情報をほかユーザーと共有できます。

⑤ 通知設定

各種通知の設定を行えます。

⑥ チャイルドロックを設定する

チャイルドロックをオンにすると本体のボタン操作が行えなくなります。

⑦ ディスプレイを設定する

この項目をオンにして時間を設定すると、設定した時間以外は待機中のディスプレイを消灯します。

⑧ スケール校正

重さの計測が正しく行われなかったときはここをタップしてください。

⑨ 重量単位を切り替える

重量の表記を切り替えます (kg かポンド)

⑩ 装置の言語を切り替える

ディスプレイに表示される言語を設定します

⑪ Wi-Fi 設定

接続に使う Wi-Fi ルーターの設定を行います

⑫ ファームウェアのアップデート

ファームウェアのアップデートを行います。

⑬ デバイスの削除

このデバイスの接続を解除します。



① 自動的に清掃する

自動清掃のオン・オフを切り替えられます。

② 待機時間

猫がドームの外へ出てから処理サイクルが始まるまでの待機時間を設定できます。

③ 洗浄を繰り返し行わないでください

設定した時間が経過するまで自動処理サイクルを連続で行わなくなります。

④ 定期的に清掃する

ペットがトイレをした・していないに関わらず、設定した時刻に処理サイクルが行われます。

⑤ 自動消臭

消臭デバイスによる自動消臭のオン・オフを切り替えられます。

⑥ 定期的消臭

ペットがトイレをした・していないに関わらず、設定した時刻に消臭が行われます。

⑦ 夜は邪魔をしないでください

設定をオンにして時刻を設定すると、設定した時刻の間は自動清掃を行わなくなります。

- コンテナが一杯になったときなどはアプリ画面にエラーが表示されます。
- エラーが表示された時は該当箇所を確認してください。
- 本体のディスプレイには△マークが表示されます。
- !マークが描かれた盾のような形が表示されている時は、安全装置が働いてドームが停止している状態です。

《01：本体ディスプレイでの表示》



エラーがあった時

エラーがあった時はこのマークが表示されます。



安全装置が作動した時

安全装置が作動した時はこのマークが表示されます。

《02：アプリ上での表示》



① 砂の残量

ドーム内のトイレ砂の残量がなくなると表示されます。

② コンテナの状態

コンテナが一杯になると表示されます。コンテナを空にしてください。

《03：その他の表示》



ドームカバー



ドーム固定ハンドル



ドームカバーが正しく取り付けられていない場合に表示されます。
ドームカバーを確認してください。
※特に向きに注意してください。
(PETKIT のロゴが入り口側です)

ドーム固定ハンドルがロック状態になっていない時に表示されます。
ドーム固定ハンドルを確認してください。

《01：製品情報》 ※製品の外観、および仕様は予告無く変更する場合がございます。

外寸(約)：幅 50.5× 奥 54× 高 65.5cm

重量(約)：12.4kg

主な材質：ABS

生産国：中国

メーカー：PETKIT Network Technology Co.ltd (中国)

《02：無償修理保証について》

- 弊社では自動猫トイレ PETKIT PuraX の無償修理保証を実施しております。(注文日から12ヶ月)
- 無償修理保証は弊社が輸入販売した PETKIT PuraX に限ります。他社ショップ、オークション、フリマアプリなどで購入した製品は対象外です。
- 無償修理保証は「期間内の通常使用による故障時の無償修理」を保証するものです。修理中のペットの世話・健康管理・代品の用意やその他の損害を補償するものではありません。また、そのような要求に関しては弊社は一切対応致しかねます。
- 修理依頼品の梱包・発送作業はお客様自身でお願い致します。(訪問回収は行っておりません)
また、お問い合わせ時に簡単な確認作業をお願いする場合があります。ご協力頂けない場合はそれ以上の対応は致しかねます。
- 修理には弊社に到着後3～4営業日かかりますので予めご了承ください。(依頼状況・時期などにより前後します)
- その他保証規定の詳細などは同封の「お問い合わせ先について」の案内をご確認ください。